

八甲田山の火山活動解説資料（平成 25 年 12 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」以降、八甲田山周辺を震源とする地震が増加した状態で経過しています。2013年4月下旬以降に増加した大岳山頂直下付近が震源と推定される地震活動は、7月下旬以降、減少傾向となっていました。今期間は南八甲田火山群での地震活動と共に一時的に増加しました。

山体周辺の地殻変動観測では、2013年2月頃以降、小さな膨張性の地殻変動がみられていましたが、8月頃から鈍化し、11月頃からは停滞しています。

噴気活動や地殻変動の状況に特段の変化は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意してください。

平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況

噴気等の異常に関する通報もなく、噴気活動にこれまでの状況と変化はみられません。

・ 地震や微動の発生状況（図 1～3）

「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」以降、八甲田山周辺を震源とする地震が増加した状態で経過しています。2013 年 2 月以降、大岳山頂直下付近が震源と推定される火山性地震が発生し始めました。この地震活動は 4 月以降、やや多い状況になりましたが、7 月下旬以降は減少傾向となっています。

今期間は、23 日に 8 回、29 日に 16 回と一時的に火山性地震が増加しました。23 日の地震活動は大岳山頂直下付近を震源とするもので、最大のマグニチュード¹⁾は 1.5 でした（震源の深さ約 2 km）。29 日は主に南八甲田火山群櫛ヶ峰の東側付近の地震活動で、最大のマグニチュード¹⁾は 1.7 でした（震源の深さ約 2 km）。29 日の日別地震回数は計数開始（2013 年 6 月 5 日）以降で最多となります。

これらの日以外は、火山性地震は少ない状態で経過していますが、今期間の地震回数は 47 回（前期間 19 回）と増加しています。

火山性微動は観測されませんでした。

1) マグニチュードは地震の規模を示します。資料中の値は暫定値で、後日変更することがあります。

・ 地殻変動の状況（図 4）

国土地理院の広域的な地殻変動観測結果では、八甲田山を囲む一部の基線で、2 月頃以降わずかな膨張を示す地殻変動がみられていましたが、8 月頃から鈍化し、11 月頃からは停滞しています。

気象庁が南荒川山に設置した GPS 観測装置の連続観測結果では、6 月 15 日から 12 月 31 日の間に特段の変化は認められませんでした²⁾。

2) 南荒川山の臨時 GPS 観測装置は 11 月 1 日に運用を終了し、近傍に新規の GPS 観測装置を設置して 11 月 19 日から運用を開始しました。駒込深沢に新規の GPS 観測装置を設置して 11 月 18 日から試験運用を開始しました。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 1 月分）は平成 26 年 2 月 10 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、弘前大学、東北大学、国土地理院、独立行政法人防災科学技術研究所、青森県のデータ等を利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

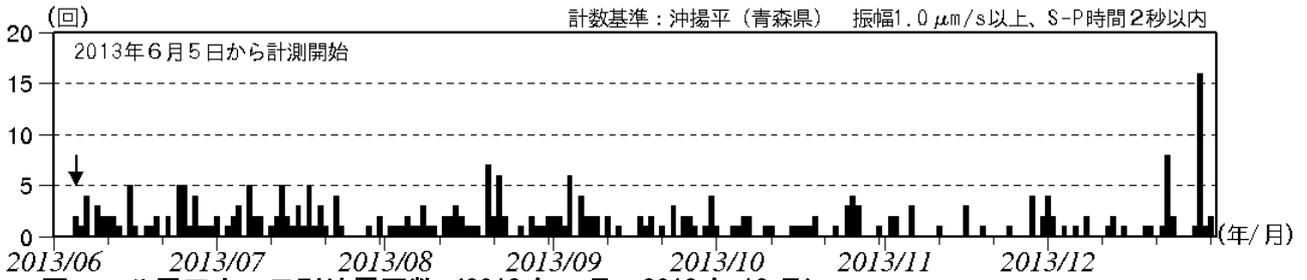


図1 八甲田山 日別地震回数 (2013年6月~2013年12月)

沖揚平 (青森県) のデータを元に、2013年6月5日から地震回数の計数を開始しました。

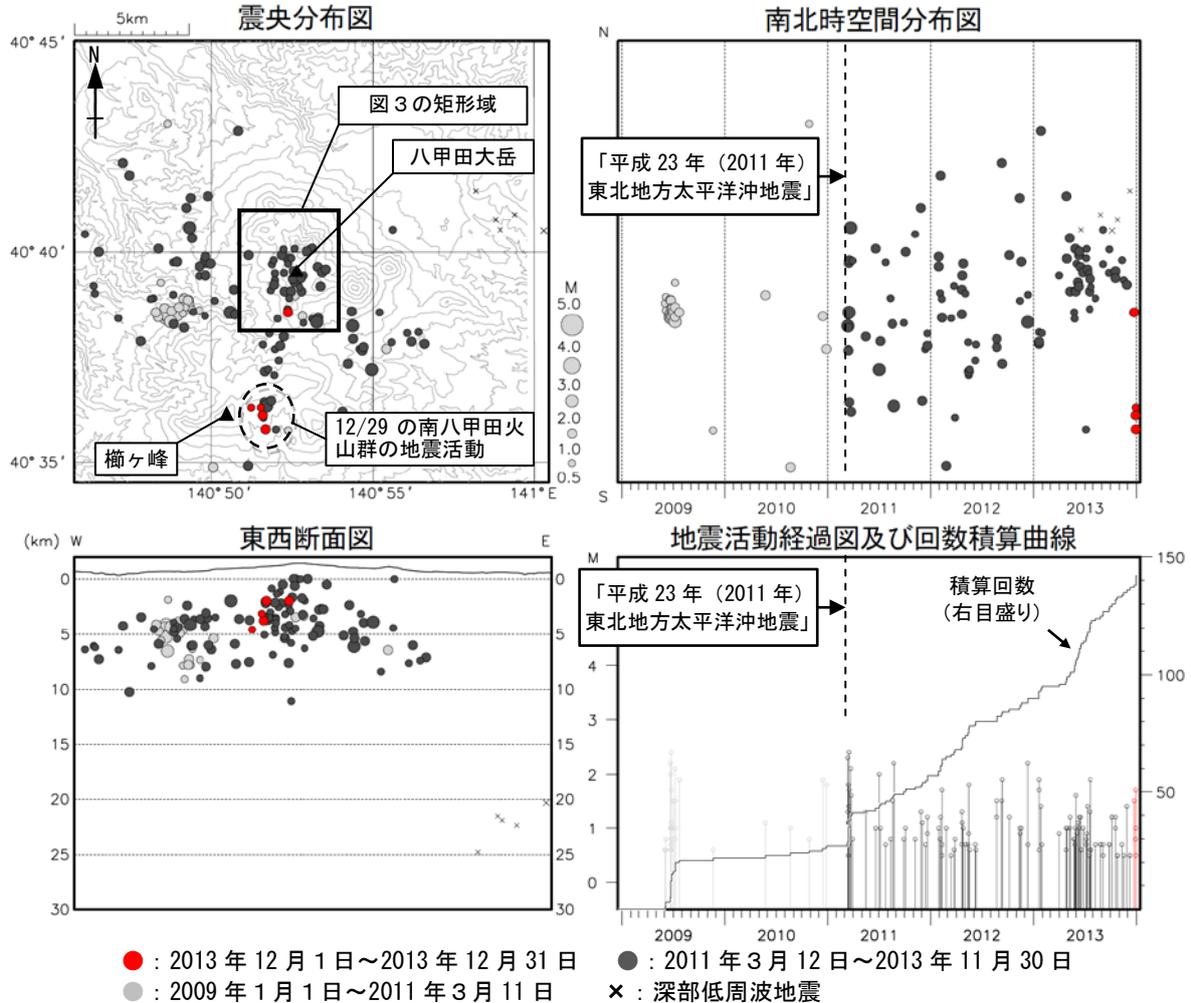


図2 八甲田山 広域地震観測網による八甲田山周辺の地震活動図 (2008年1月~2013年12月)

沖揚平観測点 (青森県) が2013年2月14日~5月24日まで障害のため検知能力が低下しています。

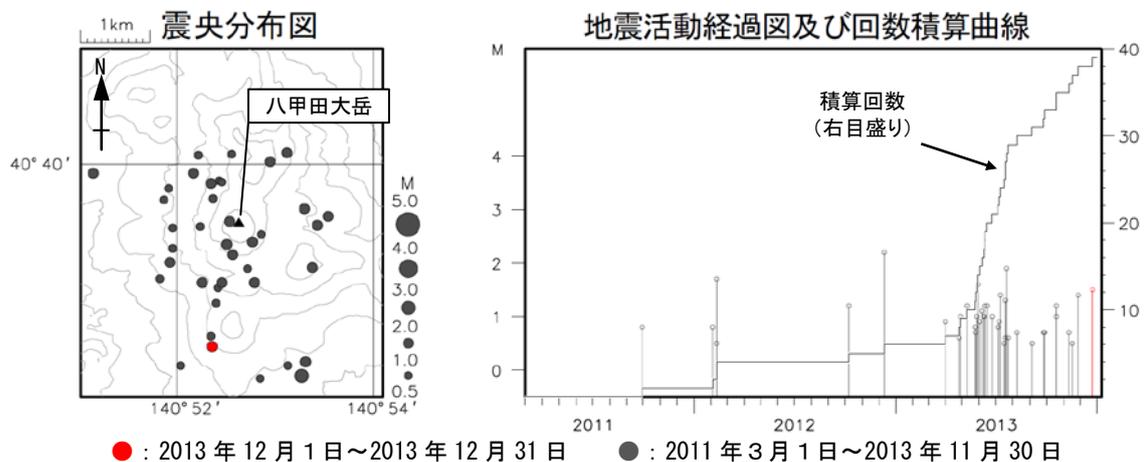


図3 八甲田山 広域地震観測網による八甲田大岳山頂付近の地震活動図

(2011年3月~2013年12月)

図2震央分布図内の小矩形域を拡大しています。

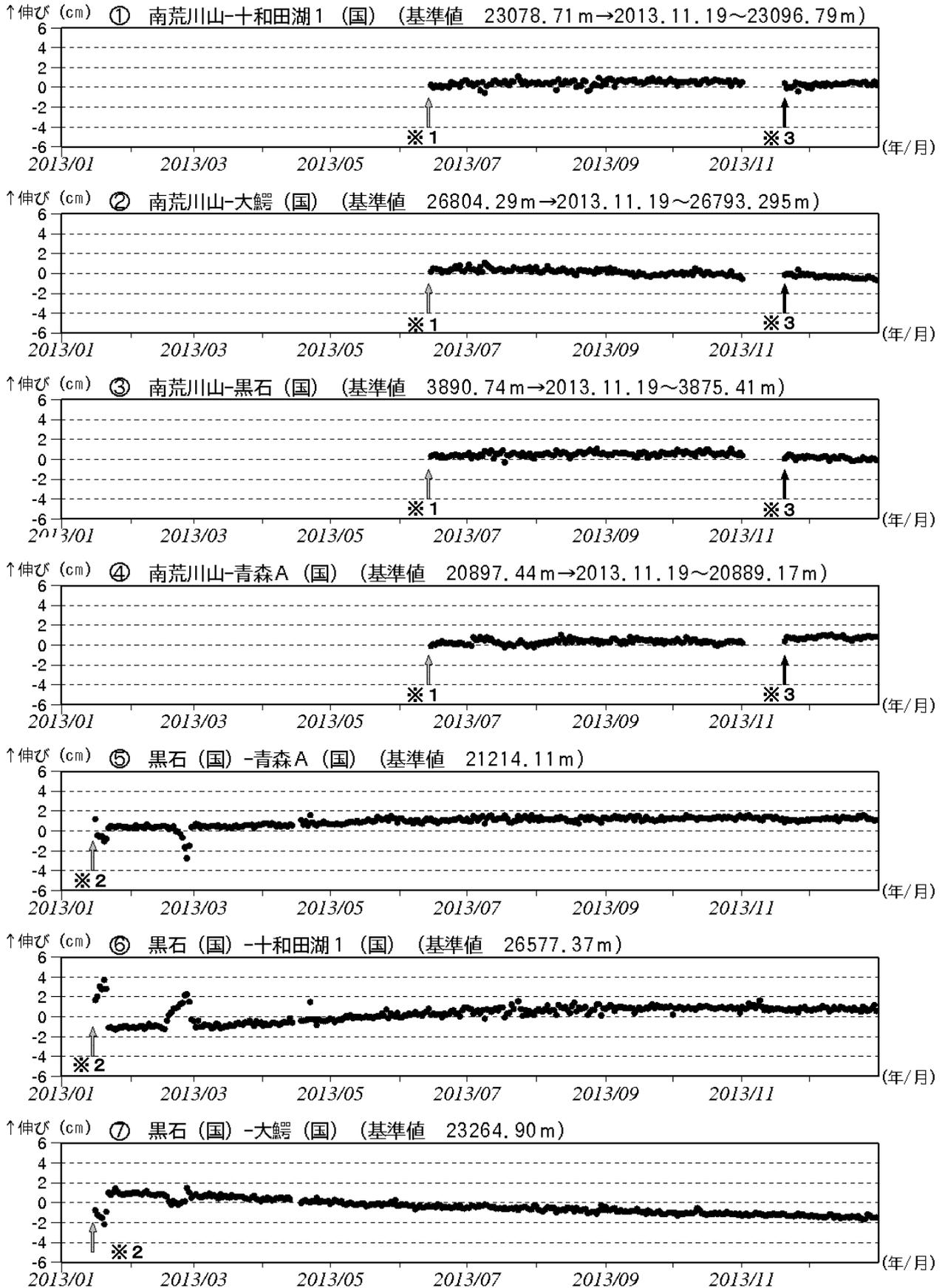


図4 八甲田山 GPS 基線長変化図 (2013年1月~2013年12月)

- ・①~⑦は図6のGPS基線①~⑦に対応しています。
- ・グラフの空白部分は欠測を表しています。

(国)：国土地理院

- ※1 2013年6月15日より南荒川山の解析を開始しています。
- ※2 2013年1月16日より解析を開始しています。
- ※3 南荒川山は、2013年6月15日から11月1日まで臨時観測点として観測していましたが、機器の移設・更新を行い11月19日から観測を再開しています。そのため、基準値を補正して接続しています。

